



あわや「川崎事故」の再来!

中央本線鳥沢～猿橋駅間で保守用車を線路閉鎖未承認区間に進入させた事象に関する緊急申し入れ

6/7 八地申第 27 号

2022年6月1日0時32分頃、中央本線鳥沢～猿橋駅間において保守用車を線路閉鎖未承認区間に進入させた事象が発生しました。当該作業員は、線路閉鎖未承認区間に保守用車を進入させたことに気づき、指令に連絡後、指令の指示によりSBS無線を発報し、同時刻、鳥沢駅停車中の下り2335M列車は指令からの指示により抑止となりました。なお、当該列車は鳥沢駅での抑止後にSBS無線を受信しました。今事象は、一步間違えれば2014年2月23日に川崎駅構内で発生した京浜東北線列車脱線事故と同様の事故に繋がる恐れがあり、グループ会社を含めた社員・お客さまの命を奪いかねない事象です。

会社は、京浜東北線列車脱線事故以降、再発防止策として確認会話の実施だけでなく、諸規程類の見直しや確実な作業に繋がるような教育訓練を実施すると表明しましたが、今事象は、川崎駅構内で発生した京浜東北線列車脱線事故の教訓が活かされておらず、JR東日本の安全が危機的状況にあることの証左です。この状況を変える為には、安全に対する根本的な意識の見直しと本質的な対策を講じることが必要です。

したがって、下記の通り緊急で申し入れを行いました。

「究極の安全」は言葉だけではなく、
具体的な対策を執らなければ実現しない!

申し入れ項目

1. 保守用車を線路閉鎖未承認区間に進入させた事象の時系列と原因・背後要因を明らかにすること。また、京浜東北線列車脱線事故の教訓が活かされずに今事象が発生したことに対する支社の見解と具体的な対策を示すこと。